



令和元年 11 月 15 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック ケアハウス・ローズマリー〉
〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8062

【ローズマリー通信へ】

日に日に、寒さを感じる日が増えてきました。

繰り返しやってくる大型台風で、千葉県・長野県などの住民が大変な水害に苦しみ、大変な日々を過ごされています。そうこうするうち秋も深まり、身近に目にするところではハナミズキの紅葉がきれいです。
お変わりなくお過ごしのことと思います。

施設の回りではキンモクセイが花をつけ、香りを漂わせています。ひよこハウスの園庭では、サツマイモが収穫期を迎え、また数年前に植えた柚子の苗木がようやく沢山の実をつけるりっぱな木になってきました。

平成から令和への代替わりの儀式が執り行われる一方で、19号台風の水害に100名近くの命が奪われ、これからの寒さに向かって、通常の生活にも事欠く被災地住民の苦難には心が痛みます。新しい時代になっても前天皇、皇后が示されたように国民の苦しみに寄り添う「労り」「慰霊」「祈り」の仕事を国民統合の象徴として堅持してほしいと思います。

これからの時代は、人と人のつながりで、命と安心、安全を大切にする、「小さなことでも」「小さなことから」、お互いに手を差し伸べ合い、支えあいながら生きていくことを求められるようになると思います。

「人が人を思いやる、助け合うことの積み重ねを大切にする」とは、介護の場でも必要な時代になっていきます。核家族、個別化時代に対応した新しい人間関係ができてこないとこれからはますます厳しい時代になりそうです。

今年もハロウィンの行事(10.31)に、両ひよこハウス、2園の子どもたちがやってきて利用者の皆さまと楽しいひとときをすごしました。

これからもいろんなイベントで、職員ががんばり、ボランティア、ご家族のご協力をいただき、新しい共同家族の形を模索していきたいです。

今月もよろしくお願い申し上げます。

代表 佐々木榮一より